

平成30年7月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年7月分について、輸出は「半導体等電子部品」、「通信機」などが減少したもの、「自動車の部分品」、「ポンプ及び遠心分離機」、「自動車用等の電気機器」などが増加したことから対前年同月比9.8%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」「音響・映像機器（含部品）」などが減少したものの、「医薬品」、「原動機」、「半導体等製造装置」などが増加したことから、同24.4%の増加となった。

その結果、差引額は161億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	827億円	+9.8%	988億円	+24.4%	▲161億円	+298.7%
	15カ月連続の増加		13カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	70億円	+223.0%	輸入	増加品目	(1) 医薬品	191億円	+120.4%
		(2) ポンプ及び遠心分離機	23億円	+151.5%			(2) 原動機	105億円	+56.0%
		(3) 自動車用等の電気機器	26億円	+57.1%			(3) 半導体等製造装置	14億円	+244.2%
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	59億円	▲19.9%		減少品目	(1) 有機化合物	50億円	▲22.3%
		(2) 通信機	3億円	▲70.6%			(2) 音響・映像機器（含部品）	16億円	▲27.7%
		(3) 重電機器	11億円	▲34.9%			(3) 記録媒体（含記録済）	5億円	▲46.3%
	主要地域 増減	EU、アジア、アメリカが増加				主要地域 増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少		

（参考）ドルレートは、110.78円（前年112.41円）1.5%の円高ドル安であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。